編集後記

●編集委員（50音順）
井上貴博　猪股雅史　須田康一　竹内裕也　竹政伊知朗　寺尾泰久
内藤　剛　中村雅史　本田五郎　文　敏景　渡邊昌彦

世界中の婦人科腫瘍専門医が注目していたLACC trialの結果が2018年11月にMinimally Invasive versus Abdominal Radical Hysterectomy for Cervical Cancer. N Engl J Med 379（20）：1895-1904, 2018に掲載された．タイムリーに本誌の文献抄録に紹介したかったが，10月が締め切りであったため間に合わなかった．これは子宮頸癌に対する低侵襲広汎子宮全摘出術（腹腔鏡，ロボット）の予後，合併症，QOLなどを，それまでの標準術式である開腹広汎子宮全摘出術と比較したランダム化試験である．子宮頸癌に対する低侵襲広汎子宮全摘出術が，従来の開腹術に比べ再発・死亡のリスクを上げるという結果であった．日本はこの試験に参加していなかった．予後が悪かった原因として，腟カフの作製の有無や術者や施設の違いもあるのかもしれないが，今後の日本の子宮頸癌に対する広汎子宮全摘出術を考えさせられる試験となった．しかし，日本は放射線治療ではなく手術にこだわってきた歴史もあり，広汎子宮全摘出術の術式は諸外国と異なり，radicalityも高い．今回の結果は非常に重要ではあるが，日本からの情報発信を続ける必要がある．

2年前に日本内視鏡外科学会雑誌の編集委員にさせていただいた．2か月に1回医学書院に編集委員全員が集まって編集会議を開催していた．審査論文は紙ベースであったものが，PDFファイルとなり，遠方の先生方はテレビ会議で参加と変化した．また，本号から完全オンライン化され，全論文カラーで掲載されることになった．雑誌が送られてくるとパラパラ眺め，気になった論文はその場で読むようにしていたので，冊子としての形態がなくなってしまうのは寂しさもある．しかし，コスト削減，事務局の業務軽減，保管スペースの確保などからもよい点が多い．今後は電子版になりますが，皆様により一層有意義な内容を届けられるように努力してまいります．そのためにも多くの論文投稿をお願い申し上げます．

（寺尾泰久）

日本内視鏡外科学会雑誌（第24巻　第1号）2019年1月15日発行・隔月刊
Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery（Tokyo）
（1部）定価：本体2,800円＋税
2019年　年間購読料：16,380円＋税　＊学会員は学会ホームページから閲覧できます．
編集・発行：日本内視鏡外科学会（代表：渡邊昌彦）
〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2　大同生命霞が関ビル　日本コンベンションサービス株式会社内
☎03-3503-5917　Fax 03-3508-1257　E-mail：info-jses@convention.co.jp（担当：池田，小倉）
http://www.jses.or.jp
発　売：㈱医学書院（代表：金原　俊）（本誌担当：水野，安部）
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23（振替口座00170-9-96693番）
本誌編集室直通　☎03-3817-5707（Fax 03-3815-7802 /E-mail：jses@igaku-shoin.co.jp）
販売部直通　☎03-3817-5659（Fax 03-3815-7804）
電子出版コード　260F2600024001000000

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は日本内視鏡外科学会が保有します．
・本誌を無断で複製する行為は，「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています．大学，病院，診療所，企業などにおいて，業務上使用する目的（診療，研究活動を含む）で上記の行為を行うことは，その使用範囲が内部的であっても，私的使用には該当せず，違法です．また私的使用に該当する場合であっても，代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります．
・JCOPY〈（社）出版者著作権管理機構 委託出版物〉本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています．複製される場合は，そのつど事前に，（社）出版者著作権管理機構（電話03-5244-5088，FAX 03-5244-5089，info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください．

©JSES, 2019

2026/09/17 11:13:22

JSES 日本内視鏡外科学会雑誌
JOURNAL OF JAPAN SOCIETY FOR ENDOSCOPIC SURGERY

第24巻2号
『投稿論文特集』

予告

●症例報告

Upside-down stomachを呈する食道裂孔ヘルニアを合併した胃癌に対し腹腔鏡下噴門側胃切除，裂孔縫縮術を施行した1例 ……常城宇生・他　徳島赤十字病院外科
細径鉗子を併用し腹腔鏡下に切除しえた腹腔神経叢由来神経鞘腫の1例 ……坂本純一・他　北里大学外科
胸腔鏡下食道切除後の胃管気管瘻に対する胸腔鏡下気管瘻閉鎖術 ……松藤祥平・他　佐賀大学医学部一般・消化器外科
絞扼性腸閉塞との鑑別を要し単孔式審査腹腔鏡が有用であった小腸アニサキス症の1例 ……平田啓一郎・他　なにわ生野病院外科
早期十二指腸癌に対して腹腔鏡補助下内視鏡的粘膜剝離術を行った2症例 ……藤田正太・他　仙台厚生病院消化器外科
腹腔鏡下で診断，根治術を行った横行結腸間膜裂孔ヘルニアの1例 ……河田直海・他　松山市民病院外科
肝挙上により術後肝梗塞をきたした腹腔鏡補助下幽門側胃切除の1例 ……江原　玄・他　新松戸中央総合病院消化器病センター外科
インドシアニングリーン併用赤外光観察システムにより胸腔鏡下分画肺切除を行った肺葉内肺分画症の1例 ……加藤雅人・他　ひらまつ病院外科

他，数編の掲載を予定．但し誌面の都合により変更がございます．ご諒承ください．

2026/09/17 11:13:22